

# 目次

グラビア この木なんの木？  
ごあいさつ 生物多様性の世界へようこそ  
本文を読む前に ～生き物のグループ分け～

## 【第1章】生物多様性とは何か？ ..... P.01

- 1 生き物の種類
- 2 日本は、世界の生物多様性ホットスポット 35 に入っている
- 3 沖縄はホットスポット日本の中でもさらにホットスポット！
- 4 生物多様性の意味～生き物の種類だけじゃない？
- 5 生物多様性国家戦略の話
- 6 遺伝子=DNA?—生き物をつくる設計図
- 7 DNAと生き物をつなぐもの—タンパク質の話
- 8 多様性をうむ減数分裂～驚異の生物多様化システム

## 【第2章】40 億年生命史 ..... P.19

- 9 生き物の誕生～それは海の底で起こった！?
- 10 過去に、地球の環境を最も変えた生物～ラン藻
- 11 エディアカラのやわらか仲間
- 12 カンブリア大爆発！って何が爆発したの??
- 13 多くの生き物がいなくなる大絶滅が何度もあった！
- 14 恐竜の多様性
- 15 三葉虫～強者どもが夢の跡
- 16 生きた化石はなぜ残る?～変わらなくても生きられる

## 【第3章】日本の生物多様性 ..... P.37

- 17 黒潮・親潮～命の潮流
- 18 日本海とキュウリエソ
- 19 タラバガニはカニじゃない？
- 20 光る生き物の話～ウミホタルとヤコウチュウ
- 21 赤いの緑の茶色いの～海藻
- 22 やわらかいから貝殻つくる
- 23 あれも貝これも貝
- 24 軟体動物の最高進化した型～イカ・タコの話
- 25 ダイオウイカを撮影したぞ！
- 26 ナメクジはカラのないカタツムリ～陸貝の話 マイマイとナメクジ
- 27 ウニとヒトデとナマコがなかま?!
- 28 水を得た魚の水中生活
- 29 稚魚の世界はまるで怪獣図鑑？
- 30 サメとエイはどこが違うの？
- 31 昆虫って何？
- 32 人気者の甲虫
- 33 アリって何の仲間なの？
- 34 嫌われ者の2枚翅
- 35 食べられる虫、イナゴ
- 36 セミの声と言えば？
- 37 優雅な婦人たち～チョウ、ガの話
- 38 昆虫とクモとムカデは何が違うのか？
- 39 陸上への挑戦
- 40 かつての陸上の支配者～爬虫類の話
- 41 鳥は爬虫類で恐竜の生き残り!?!～最新のグループ分け
- 42 日本のほ乳類
- 43 イルカはクジラ?!
- 44 海牛と海獣～クジラ以外の海にすむほ乳類
- 45 絶滅せしもの～消えた動物たち

- 46 多様な人類祖先たち ..... P.96
- 47 ブナの森は命の森～多様性を支える自然のダム
- 48 ドングリココロ
- 49 1年中緑の森～照葉樹林の話
- 50 本物とニセモノのコケ
- 51 シダ植物から種子植物へ
- 52 『北海道』は南の島!?
- 53 富士山頂は岩ばかり～垂直分布の話
- 54 夏が来れば思い出す?～尾瀬ヶ原の悲しい運命
- 55 日本でただ一つの古代湖～琵琶湖の話
- 56 世界の宝～屋久杉の森
- 57 「東洋のガラバゴス」から「世界自然遺産・小笠原」へ
- 58 きのは植物じゃない?
- 59 食べられるか食べられないか、それが問題だ
- 60 土に生きる～土壤動物の世界
- 61 土壤動物の多様性

**【第4章】人と生物多様性の関わり ..... P.129**

- 62 人は「着るもの」にどれだけ生き物を利用してきたか
- 63 人が食べているものは、すべて人以外の生き物だ!
- 64 「住」と生物多様性
- 65 人が管理することで生物多様性が増す!?～里山の森
- 66 人が生き物から学ぼうという学問が世界を変える!
- 67 ヤモリの足は超すぞい!～夢のヤモリテープ
- 68 フクロウは羽は音を消す!
- 69 ハスの葉とカタツムリの殻～汚れないひみつ
- 70 ミミズ型ロボットに粘菌型ロボット!?!～ロボット最新事情
- 71 ハコフグの骨を車に生かす!

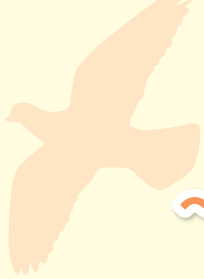
**【第5章】琉球列島の生物多様性 ..... P.145**

- 72 琉球列島の昆虫の4分の1が、ここでしか見られない!
- 73 イタジイの森とガジュマルの森
- 74 絶滅が心配される沖縄の植物は約40%!
- 75 琉球列島の地理と気候～生物多様性をうむひみつ
- 76 琉球列島の鳥たち～渡り鳥
- 77 琉球列島の両生類
- 78 琉球列島の爬虫類
- 79 奄美諸島～もう一つのやんばる
- 80 やんばるの奇跡
- 81 サンゴが支える沖縄の海
- 82 宮古島の生き物と不思議な化石
- 83 日本最後の秘境～西表島
- 84 ヨナグニサンとヨナグニシュウダ

**【付録】 ..... P.173**

- 1 沖縄で見られるかもしれない天然記念物
- 2 沖縄の自然を代表する4つの生態系
- 3 やんばるの生き物
- 4 宮古の生き物
- 5 八重山の生き物
- 6 低地石灰岩林の生き物
- 7 マングローブの生き物
- 8 サンゴ礁の生き物





# 本文を読むまえに ～生き物のグループ分け～

「<sup>せいぶつたようせい</sup>生物多様性」とは何か?ということについては本文を読んでもらうとして、ここでは、この本を読むのに必要な、生き物のグループ分けの話を書きます。生き物のグループを考える時にどうしても必要な知識ですので、ここを頭に入れてから、本文にお進みください。また、本文を読んでいて「あれ?何だっけ」と思ったら、またすぐにここを読み返してみてください。

## 生き物のグループ

あなたが、小学生だとします。どこの小学校に通っていますか?たとえば松島小学校に通っている人は、みんな「松島小学校の小学生」というグループに入ります。何年生ですか?あなたが5年生なら「5年生」というグループに入ります。何組ですか?あなたが2組なら「2組」のグループに入ります。2組の何班ですか?「3班」です……。というぐあいに、グループ分けには、「3班」のような小さなグループから「松島小学校」という大きなグループまで、さまざまな段階があります。これをグループ分けの階層(レベル)といいます。

まったく同じように、生き物のグループ分けにもレベルがあります。では、「カエル」を一番大きなドメインというレベルからグループ分けしてみましょう。

- ドメイン……………<sup>しんかくせいぶつ</sup>真核生物：<sup>さいぼう</sup>細胞に<sup>かくまく</sup>核膜のある核をもつ生き物のなかま
- 界……………動物界：運動能力と感覚を持つ生き物のなかま
- 門……………<sup>せきさくどうぶつもん</sup>脊索動物門：<sup>せきつい</sup>脊椎(背骨)か、それに近い<sup>せきさく</sup>脊索をつくる生き物のなかま
- 綱……………<sup>こう</sup>両生綱：<sup>りょうせいどう</sup>一生の間に陸と水環境を<sup>かんきょう</sup>両方必要とするカエルやイモリのなかま
- 目……………カエル目：幼生から成体になる時にしっぽがなくなるカエルのなかま
- 科……………アオガエル科：からだの色が緑色のカエルとそれに近いなかま



**ぞく**属……………カジカガエル属：甲高く「ピュルル」ときれいな声で鳴くアオガエルのなかま

**しゅ**種……………リュウキュウカジカガエル：琉球にいるカジカガエル

このように、単に「カエル」といった場合は、「カエル目」を指し、かなり大きなグループだということになります。カエルにもいろいろなカエルがいますから、もっと細かく分けていくと最後は「種（リュウキュウカジカガエル）」という、これ以上グループ分けできない階層まで行き着きます。それぞれの階層を「～<sup>るい</sup>類」ということがあり、「<sup>るい</sup>類」というのはどの階層<sup>かいそう</sup>にでも当てはまる、便利<sup>べんり</sup>なことばになっています。「<sup>るい</sup>類」は便利<sup>べんり</sup>だけれど、逆にわかりにくいこともあります。

あなた（ヒト）は、大きなグループでは脊索動物門<sup>せきさくどうぶつもん</sup>に入りますから、門のレベルではカエルと同じなかまです。

界レベルでは、あなたとイソギンチャクは同じなかまです。

ドメインレベルでは、あなたとアメーバは同じなかまです。

表紙の裏の「<sup>うら</sup>系統<sup>けいとうじゆ</sup>樹」は、すべての生き物を、<sup>こう</sup>ほぼ網レベルで分けたものです。





はじまる  
クエ!